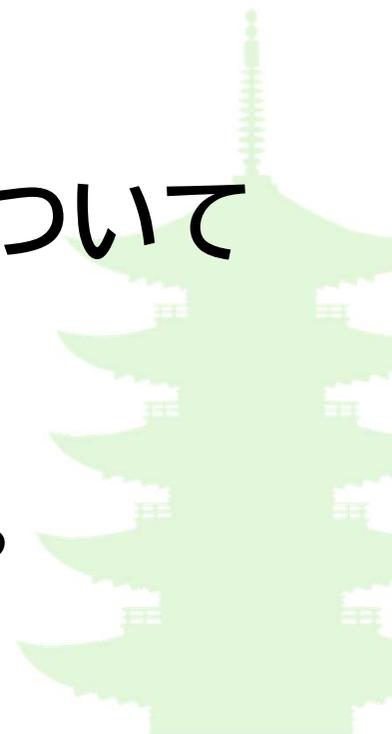




# 多世代交流・健康増進拠点施設整備について

- I 湯田温泉のまちづくりの方向性…………… P2～6
- II 多世代交流・健康増進拠点施設整備の経緯…………… P7～12
- III 基本設計の進捗状況…………… P13～16



令和3年3月30日

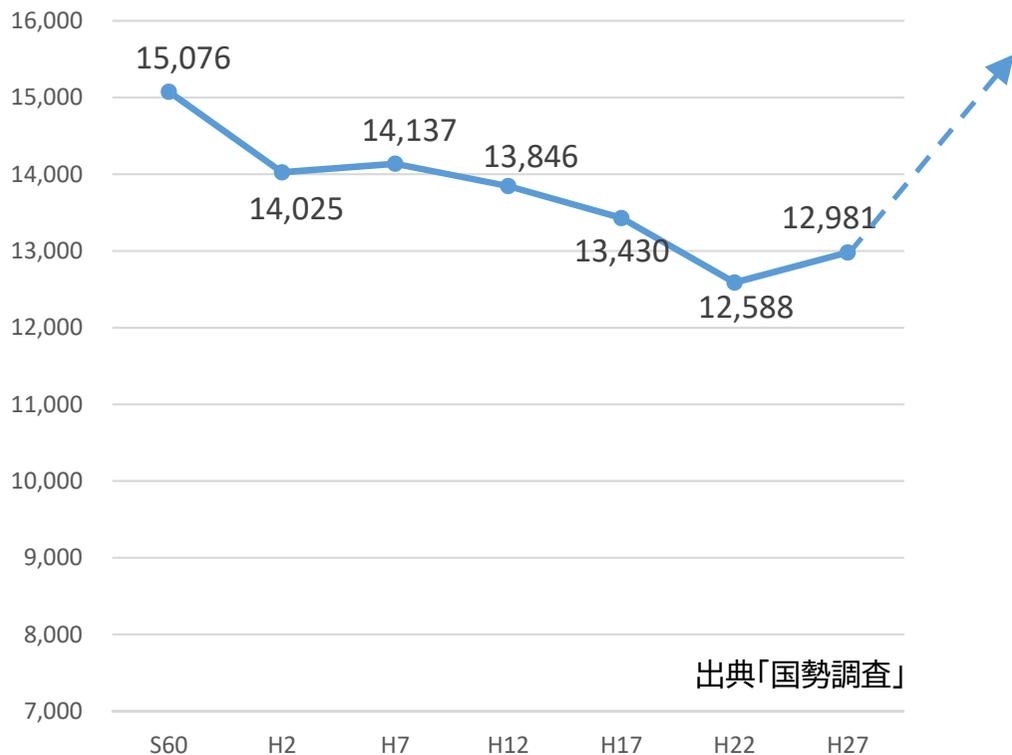
山口市総合政策部スマートシティ推進室

# I 湯田温泉のまちづくりの方向性

# 湯田温泉の現状と目標

## 定住人口

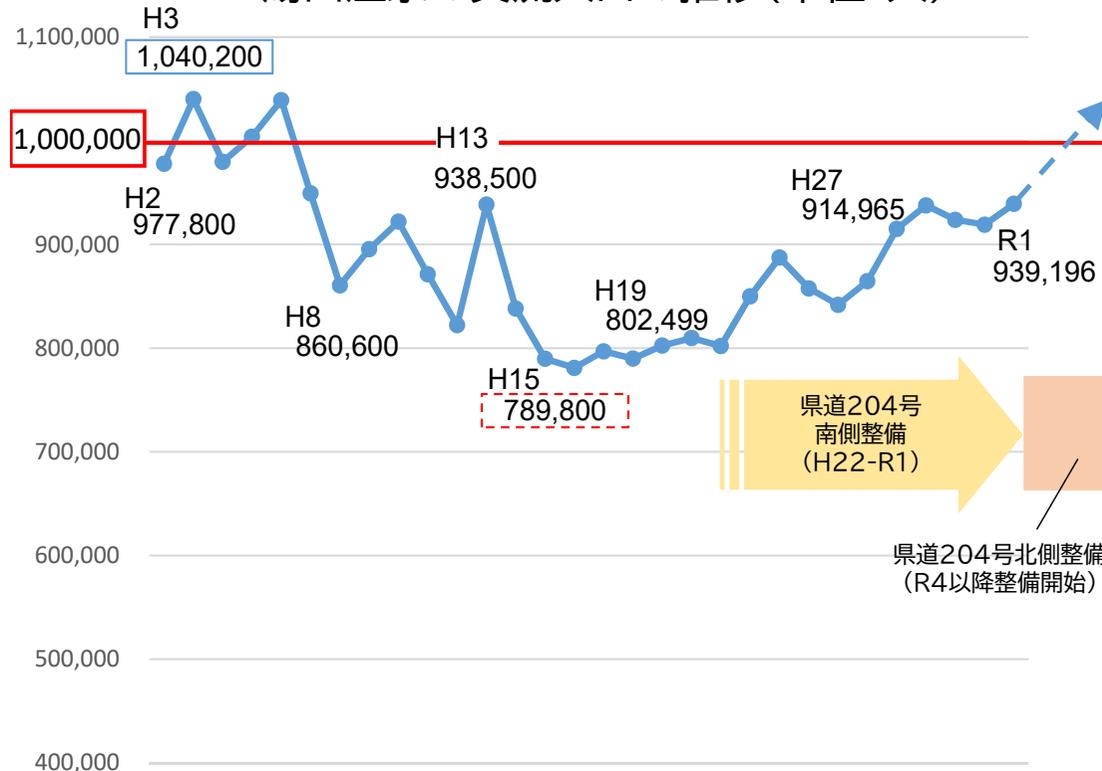
湯田地域の定住人口の推移(単位:人)



人口減少時代においても湯田地域等の定住人口の増加を図る

## 交流人口

湯田温泉の交流人口の推移(単位:人)

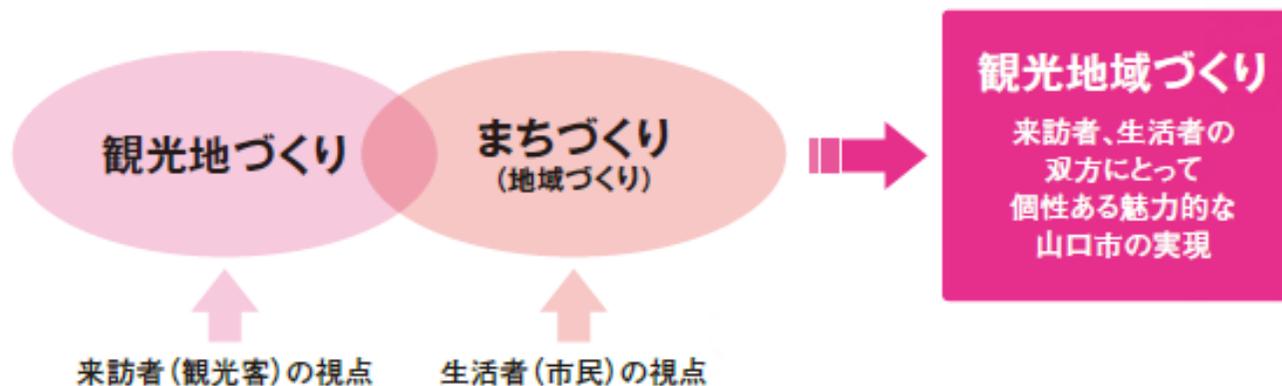


交流人口100万人回復に向け更なる交流人口の増加を図る

## 湯田温泉の整備目的

本市では、「個性と安心の21地域づくり」を都市政策の柱の1つとして掲げ、市内21地域で、住んでみたい、住み続けたいと思えるまちづくりを進める中、持続可能なまちづくりに向け、地域全体がまちとして豊かさを享受し、地域住民が誇りを持てる地域づくりと、地域住民が自ら創り出すおもてなしあふれる観光地づくりを一体的に行う「観光地域づくり」に取り組んでいる。湯田温泉においては、「**住んでよし・訪れてよしの湯田温泉**」を発展の方向性として位置付け、市民に対し、温泉といった地域資源や、地域の歴史、文化に対する誇りを育み、住民の暮らしぶりに根づいた地域資源の磨き上げを行うことで、市民、観光客、双方に魅力を感じていただける、県内随一の温泉地を目指している。

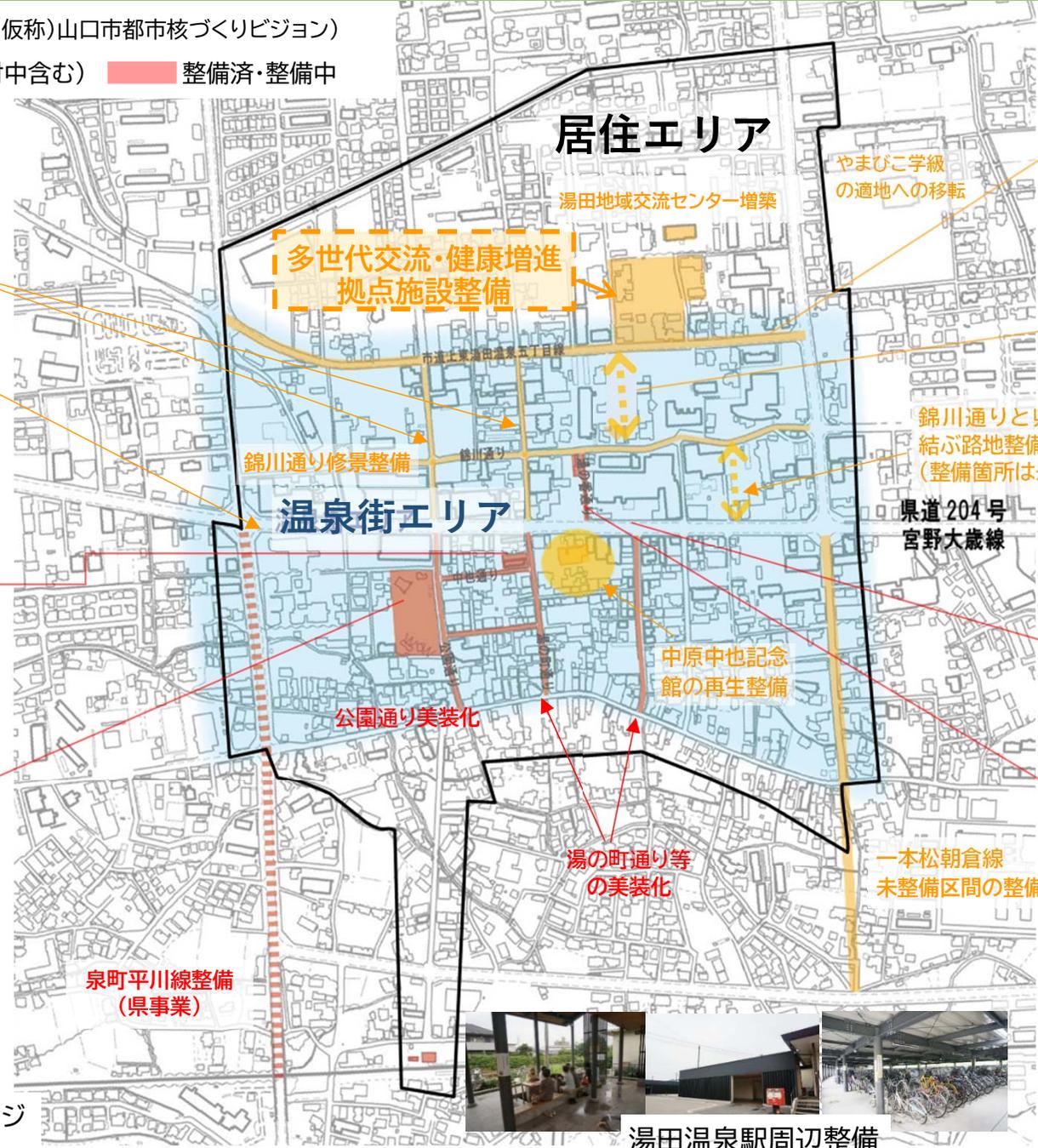
〈観光地域づくりのイメージ〉



出典「山口市観光交流加速化ビジョン」

# 湯田温泉ゾーンの整備内容(予定)

—— 湯田温泉ゾーン((仮称)山口市都市核づくりビジョン)  
 ■ 今後整備予定(検討中含む) ■ 整備済・整備中



狐の足あとの整備



何遠亭を含む井上公園の整備



湯田温泉スマートインターチェンジ



湯田温泉駅周辺整備

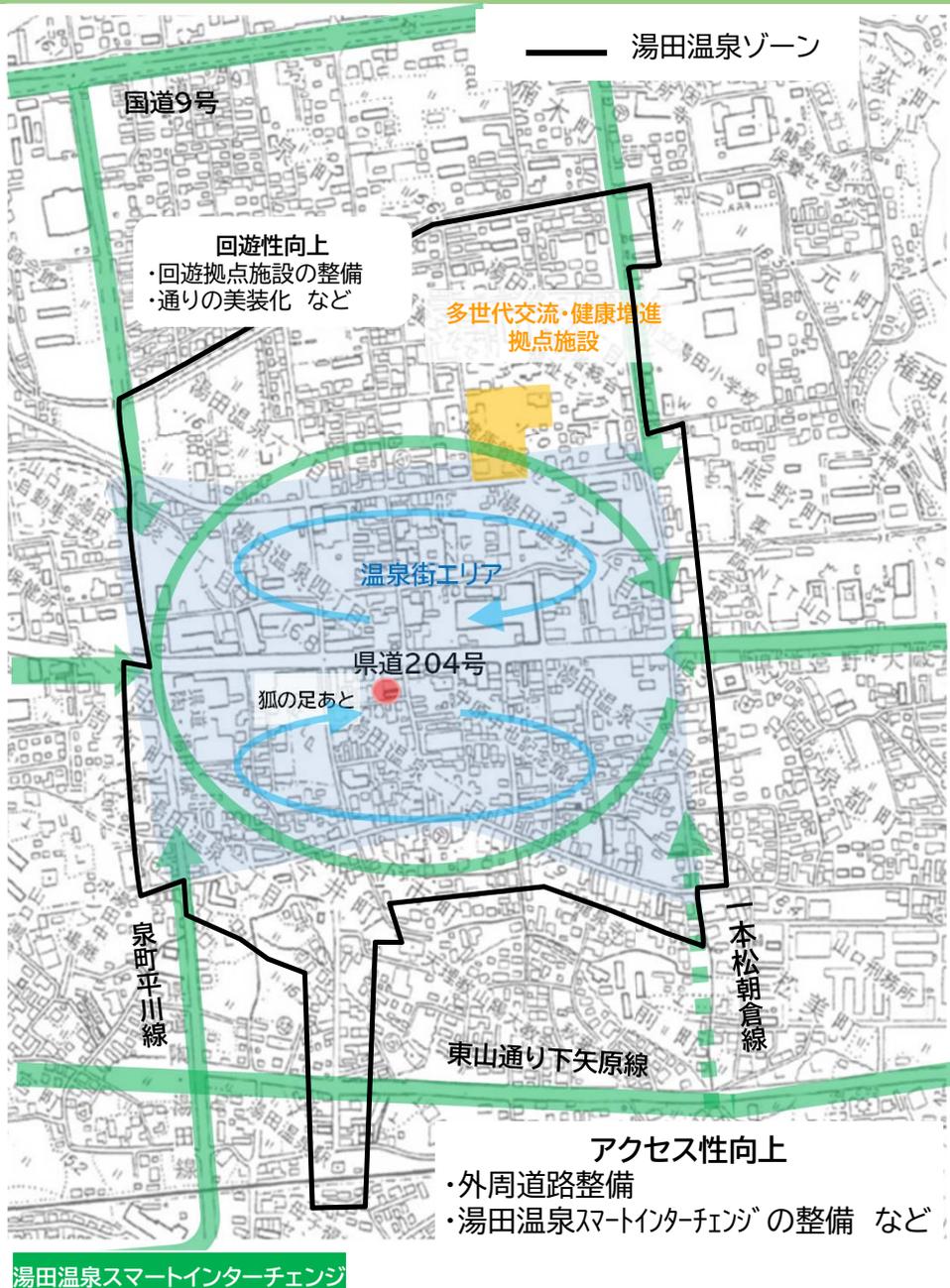


バス停の整備



湯の香通りの整備

# 湯田温泉ゾーンの整備効果



湯田温泉ゾーンの整備を通じ、下記をはじめとした地域課題の解決を図ります。

- ▶ 地域住民を始め市民の湯田温泉への愛着を育む市民温泉の実現
- ▶ 天候に左右されない地域イベント、観光イベント開催の実現
- ▶ 産業交流拠点施設で生まれる新たな賑わいや人の流れを誘引し、山口都市核を始めとした市内への回遊を促す
- ▶ 雨水、排水対策(浸水リスクの軽減)
- ▶ 湯田温泉へのアクセス性向上や、周辺の渋滞緩和
- ▶ 湯田温泉ゾーン内の歩行者の安全確保
- ▶ 湯田温泉ゾーン内の回遊性の向上

# Ⅱ 多世代交流・健康増進拠点施設 整備の経緯

# 施設整備の経緯

## 1 地域からの要望

### 平成24年3月 湯田地区町内会連合会

大殿・白石・吉敷・平川・大歳地域の5つの連合町内会の支持表明書を添えた形で、市民の誰もが気軽に利用できる公衆浴場の建設を要望

### 平成25年11月 湯田温泉女性部の皆様を中心とした署名

当時、整備を進めていた湯田温泉観光回遊拠点施設「狐の足あと」への外湯の建設を要望

### 平成30年8月 湯田地区コミュニティ運営協議会

多世代交流・健康増進拠点施設整備基本構想の策定段階において、研修スペース・会議室の確保や、大規模な温泉施設としての千人湯、地域団体や地域住民が利用しやすい施設とすることに加えて市民全体での利用促進が図られる施設となることを要望。

【参考】山口市老人憩の家「寿泉荘」

昭和49年に設置された湯田温泉唯一の公共の温泉施設である「寿泉荘」は、市民温泉として整備を行いたかったものの、当時は湯量の関係で広く市民を対象とした施設とすることが難しかったため、当面60歳以上に利用を限定する形をとった。

## 2 行政(計画)における検討

### 平成27年10月 山口市まち・ひと・しごと創生総合戦略 策定

- ・湯田温泉において、老朽化した公共施設の再編、未利用地の利活用をはじめ、都市機能や居住環境を高めていく検討を行うことを位置づけ

### 平成28年11月 生涯活躍のまち構想 策定

- ・湯田地域において、老朽化した公共施設の再編や機能強化を図り、多世代にとって住みよいまちづくりを推進することを位置づけ

### 平成30年3月 第二次山口市総合計画 策定(重点プロジェクトに位置付け)

- ・住んでよし・訪れてよしの湯田温泉の方向性のもと、市民温泉を含む多世代交流施設整備に取り組むことを位置付け

### 平成31年3月 多世代交流・健康増進拠点施設整備基本構想 策定

- ・整備予定地や、寿泉荘を多世代型の温浴機能として更新する方向で検討することを位置付け

### 令和2年10月 多世代交流・健康増進拠点施設整備基本計画 策定

- ・施設に導入する3つの機能(温浴・健康、交流、附帯)を決定
- ・県道204号北側を中心とした施設周辺整備を位置付け

# 多世代交流・健康増進拠点施設整備基本計画(令和2年10月策定)

## 1 計画策定に係る取組(市民や関係者への意見聴収)

- ・ 市民ワークショップを計5回開催し、延べ107名が参加
- ・ 地域関係団体等との協議を29回実施
- ・ 有識者等(大学)との協議を4回実施
- ・ 市民温泉の整備に関する市民アンケート調査を約2,000名に実施
- ・ 寿泉荘の利用者アンケート調査を76名に実施
- ・ 基本計画(案)に対するパブリックコメントを実施

## 2 施設の機能

### ①温浴・健康機能

山口市老人憩の家「寿泉荘」を建替え、更新

### ②交流機能

- ア. 半屋内や屋内としての多目的スペースを整備
- イ. 芝生広場や緑地などの広場スペースを整備

### ③附帯機能

- ア. 飲食スペースを整備
- イ. 駐車場・駐輪場等を整備

## 3 配置イメージ

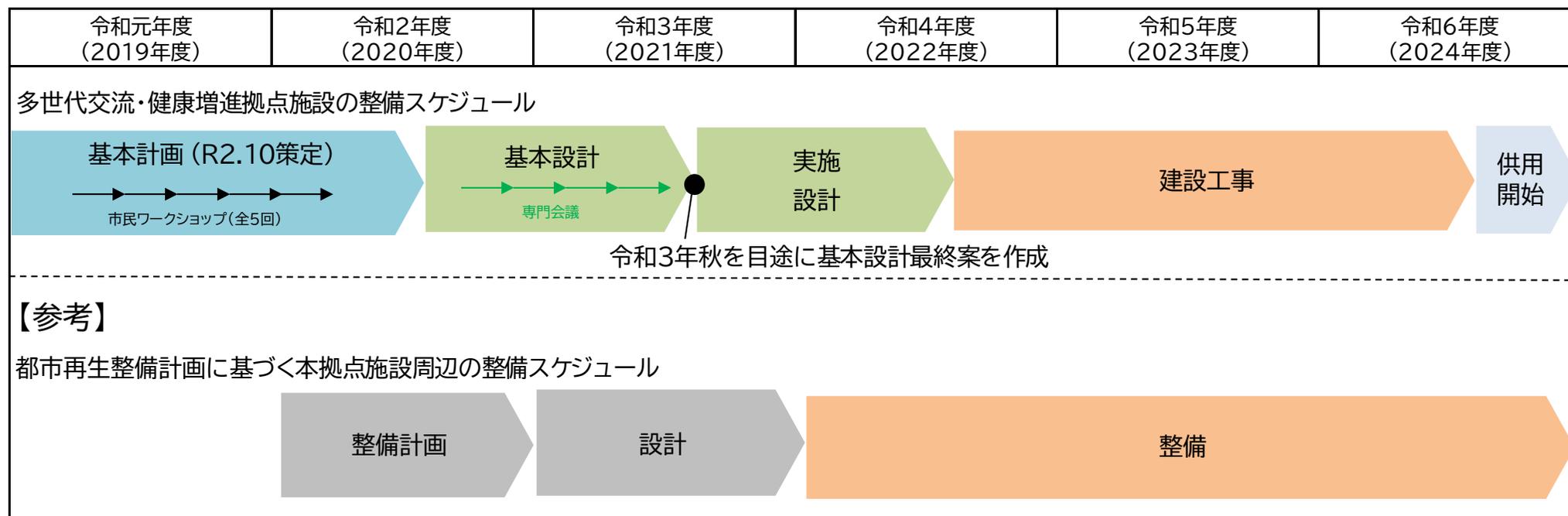
配置条件について確認

- ・ 温浴機能は1階に配置する。
- ・ 放課後児童クラブの移転が決まったため、現在放課後児童クラブが立地している敷地も含めた配置の検討を行うこととする。

## 4 事業展開イメージ

市民ワークショップ等を通じていただいた御意見や御提案を、市民の皆様が温泉を身近に感じ、憩う魅力的なまちなか保養や多種多様なイベント開催も可能となるかたちで施設を活用する方向性で分析し、施設の交流機能の検討が、引き続き、基本設計において円滑に行えるよう、事業展開イメージとして整理。

## 5 整備スケジュール



## 多世代交流・健康増進拠点施設の目指す姿

- ▶ 市民が日常的に訪れ、温泉の恵みや様々な交流を楽しむ施設
- ▶ 温泉文化を醸成し、市民の湯田温泉に対する愛着を育む施設
- ▶ 市民と観光客の交流を創出する観光地域づくりの拠点となる施設

このような施設を整備することで、「住んでよし・訪れてよしの湯田温泉」の実現を図り、市民の暮らしを豊かにし、また、観光客が地域資源や市民との交流などを楽しんでいただける、魅力的なまちを目指す。

また、こうした施設の目的や特性を市民の皆様に分かりやすくお伝えでき、また、本施設に親しみをもっていただけるような施設の名称にしたいと考えている。

## Ⅲ 基本設計の進捗状況

# 基本設計の進捗状況

## 1 基本設計業務

- ▶ 令和2年11月に、受託事業者として光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体を選定
- ▶ 事業者の選定について

光井純アンドアソシエーツ・大建設計共同体は、基本計画の策定支援事業者として、基本計画策定段階から、市と連携し、市民や湯田温泉の関係団体の皆様の御意見や御提案を聞き、建築技術の専門的知見を生かした基本設計につながる機能の配置検討を行っている。こうした基本計画に反映した市民や関係団体の皆様の御意見や御提案、基本計画策定支援事業者のノウハウやアイデア、市民意見を踏まえた専門的知見に基づく配置検討の内容等を、基本設計に有効に、切れ目なくつなげていくため、当該事業者を受託事業者として選定。

## 2 サウンディング型市場調査の実施

- ▶ 第1回目を令和2年12月21日～23日に実施し、4者参加
- ▶ バリアフリーに配慮した浴槽の設置、温泉や飲食スペースの規模、施設を活用したイベントアイデア等について御意見、御提案をいただいている。

## 3 関係団体へのヒアリング

- ▶ 随時実施
- ▶ 大屋根広場の防音対策の強化や、産業交流拠点施設が生み出す新たな人の流れを湯田温泉へ誘引する取組の必要性等について、御意見、御提案をいただいている。

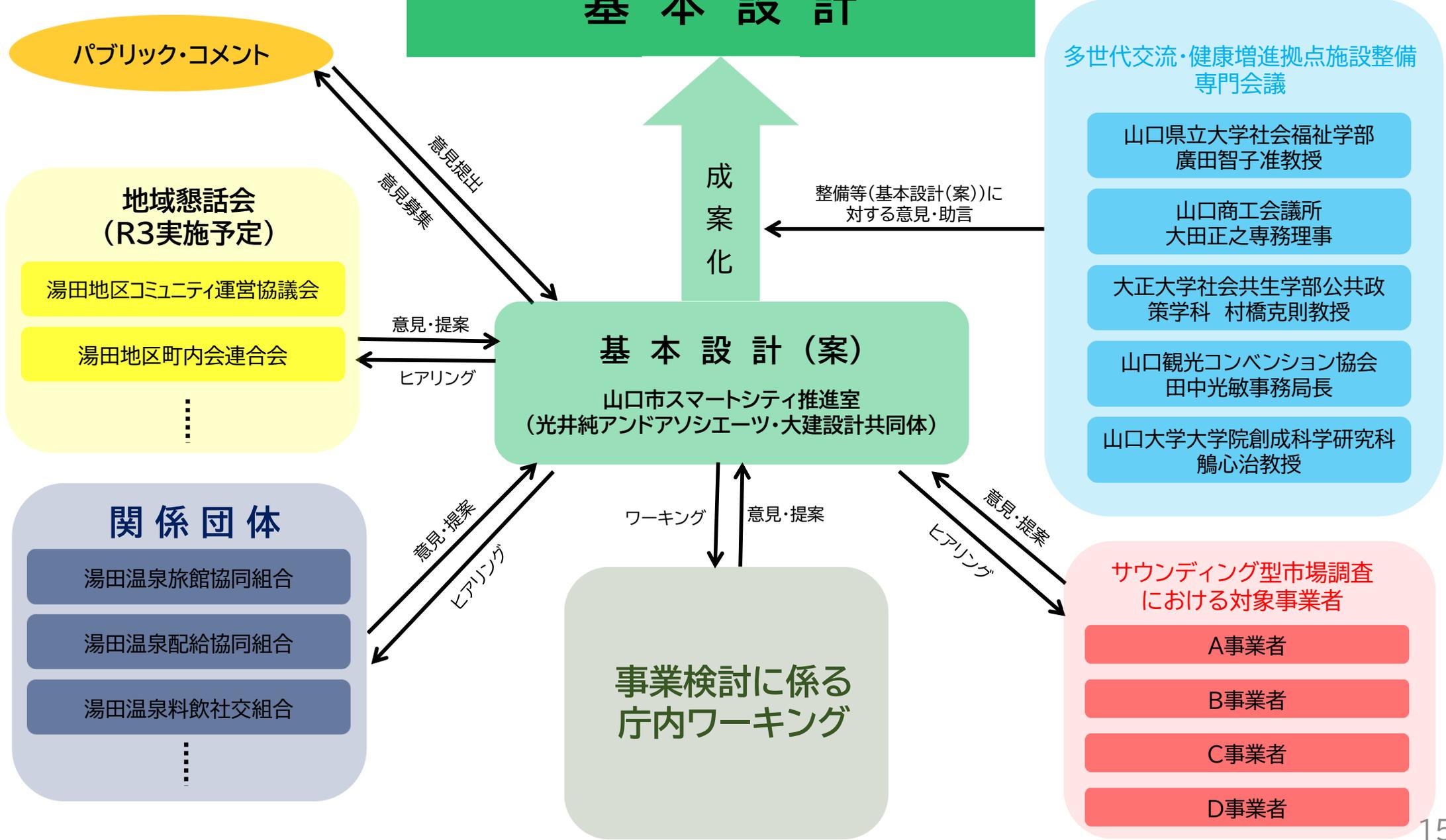
## 4 多世代交流・健康増進拠点施設整備専門会議の設置

- ▶ 本施設基本設計に関し、専門的な立場から有識者の意見及び助言をいただくもの。
- ▶ 福祉、市民生活、観光及び都市計画の各分野から5名の委員に御就任いただいている。

## 5 地域懇話会の実施

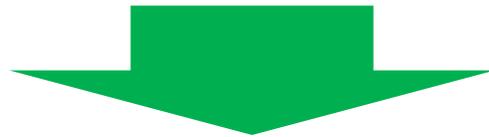
- ▶ 湯田地域において、令和3年度実施予定。
- ▶ 本施設の活用について、地域の提案や要望等をお聞きする。

## 多世代交流・健康増進拠点施設整備 基本設計



## 多世代交流・健康増進拠点施設整備専門会議のスケジュール(予定)

- 第1回 委嘱状交付、本施設整備について説明、  
配置ゾーニングを参考として7パターン提示 ← 資料4及び5で説明
- 第2回 配置ゾーニングを3パターンに絞り込み
- 第3回 配置ゾーニング(案)を提示
- 第4回 第3回の配置ゾーニング(案)に基づく基本設計(案)を提示  
(本年秋目途)



**基本設計最終案を作成**

本専門会議では、本施設周辺の整備状況や、サウンディング型市場調査及び関係団体へのヒアリング等を通じていただいた御意見等についても御報告させていただきます。